

4. 進級・卒業

1 進級

(1) 進級要件

「第3年次への進級に関する内規」に基づき、2年次から3年次への進級に必要な単位数は48単位です。2年次修了時点で卒業要件科目の内48単位以上修得した学生は、修得科目に関わらず3年次へ進級できます。1年次から2年次へ、3年次から4年次への進級要件はありませんので、自動的に進級します。なお、1セメスター休学した場合でも次の学年に進級しますが、2セメスター連続して休学した場合は、原級にとどまります。

(2) 進級時期

進級時期は、3月(2年次秋学期)のみです。2年次春学期修了時点で進級要件を充足しても年度途中に3年次へ進級することはできません。

進級可能者は3月中旬にお知らせします。

(3) 進級不可(留年)について

進級不可(留年)となった学生については、3月中旬に保証人宛に通知します。

2 卒業

(1) 卒業要件

大学を卒業するためには、次の2点を満たさなければなりません。

- ・ 通算して4年(8セメスター)以上在学した者(休学期間は除く)。
- ・ 所定の128単位(卒業に必要な単位数)を修得した者。

注) 所定の128単位(卒業に必要な単位数)については、各学科のカリキュラム概要を参照してください。4年次修了時点で条件を満たしていなければ、128単位以上修得していても卒業することはできません。

(2) 学位の授与

卒業要件を充足した者は、「愛知学院大学学則」第37条により学士(文学)の学位が授与されます。

(3) 卒業時期

卒業時期は、3月または9月のいずれかです。

- ・ 3月卒業
4年次秋学期修了時点で卒業要件を充足した者。
卒業可能者には、3月上旬に保証人宛に通知します。
- ・ 9月卒業
4年次春学期修了時点で、4年(8セメスター)以上在学し、卒業要件を充足した者。
卒業可能者には、9月中旬に保証人宛に通知します。

(4) 卒業不可(留年)について

卒業不可(留年)となった学生については、3月上旬に保証人宛に通知します。次年度以降の卒業に関する調査を行います。「卒業に関する調査」を履修登録期間までに教務課へ提出してください。

カリキュラム概要

宗教文化学科の卒業要件単位について

卒業するためには「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 36 単位	+	専門教育科目 76 単位	+	グレーゾーン 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・○は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。

教養教育科目 (36 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	分野合計	内訳				
教養基幹科目	24単位 (注1)		教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①	教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①		
		人文系	4単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②		
		社会系	4単位	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②		
		自然系	4単位	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ、情報科学Ⅰ・Ⅱ 各②	情報科学Ⅲ・Ⅳ 各②	
主題系	4単位		仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②			
外国語科目	10単位	第1外国語	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①	英語Ⅰc・Ⅱc 各①	
		第2外国語	2単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ 各① (1言語を選択)		
		文化事情	2単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、フランス文化事情、韓国文化事情 各② (1科目を選択)		
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①			
合計	36単位	(注1)「教養基幹科目」において、24単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 ※ 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.40を参照。				

グレーゾーン (16 単位)

要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次	
グレーゾーン 16単位	英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現法Ⅰ・Ⅱ、英語読解法Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ 各①				
	英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現法Ⅲ・Ⅳ、英語読解法Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各①				
	ドイツ語 中国語 フランス語 韓国語 **スペイン語	Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎) 各①			
		Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各①			
		スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ 各①			
		海外事情Ⅰ・Ⅱ 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①			
		*キャリア・デザイン②			
		*インターンシップ②			
		*地域連携学A・B・C・D 各②			
		・「教養教育科目」のうち、「教養基幹科目」の要件24単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件76単位を超えて修得した科目の単位 ・「単位互換科目」で修得した単位 「他学部・他学科科目」で修得した単位(24単位まで修得可) ※グレーゾーンの要件16単位を超えた場合は、8単位まで④「専門教育科目」に算入される。			

* いずれか2単位のみグレーゾーンに算入
** スペイン語はⅠ(基礎)、Ⅱ(基礎)のみ開講

カリキュラム概要

専門教育科目 (76 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	合計	内訳				
専門基礎科目	8単位	宗教学入門Ⅰ・Ⅱ、仏教学入門Ⅰ・Ⅱ、禅学入門Ⅰ・Ⅱ 各②				
		地域宗教文化Ⅰ-Ⅰ・Ⅰ-Ⅱ、地域宗教文化Ⅱ-Ⅰ・Ⅱ-Ⅱ、地域宗教文化Ⅲ-Ⅰ・Ⅲ-Ⅱ 各② (注)				
専門基礎語学	4単位	宗教文化史Ⅰ・Ⅱ、仏教の歴史Ⅰ・Ⅱ、禅宗史Ⅰ・Ⅱ 各②				
専門一般科目 ①	64単位	現代社会と宗教Ⅰ・Ⅱ、現代社会と仏教Ⅰ・Ⅱ 各②				
		基礎セミナーⅠ ②	比較宗教思想Ⅰ・Ⅱ、宗教社会学Ⅰ・Ⅱ、宗教心理学Ⅰ・Ⅱ、仏教の中国的展開Ⅰ・Ⅱ、中国仏教の思想Ⅰ・Ⅱ、仏教の日本の展開Ⅰ・Ⅱ、禅の思想Ⅰ-Ⅰ・Ⅰ-Ⅱ、禅の思想Ⅱ-Ⅰ・Ⅱ-Ⅱ、教化布教特講、行持の基礎、坐禅Ⅰ・Ⅱ、西洋古典の文化Ⅰ・Ⅱ、西洋の思想Ⅰ・Ⅱ、インドの思想Ⅰ・Ⅱ、中国の思想Ⅰ・Ⅱ、日本の思想Ⅰ・Ⅱ、日本の仏教Ⅰ・Ⅱ 各②			
		基礎セミナーⅡ ②	宗教と民俗文化Ⅰ・Ⅱ、比較宗教史Ⅰ・Ⅱ、宗教人類学Ⅰ・Ⅱ、宗教教理学Ⅰ・Ⅱ、仏典講読Ⅰ・Ⅱ、インド仏教の思想Ⅰ・Ⅱ、日本仏教の思想Ⅰ・Ⅱ、仏教美術Ⅰ・Ⅱ、禅語録講読Ⅰ・Ⅱ、禅と芸術Ⅰ・Ⅱ 各②			
	4単位	宗教文化セミナーⅠ・Ⅱ 仏教文化セミナーⅠ・Ⅱ 禅文化セミナーⅠ・Ⅱ 各②				
総合セミナー	4単位	総合セミナーⅠ・Ⅱ 各②				
卒業論文	4単位	卒業論文 ④				
合計	76単位					

※76単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。
 ※「教化布教特講」と「行持の基礎」は原則宗内生のみ履修可能。

(注)春学期に基礎セミナーⅠを履修する者は、秋学期開講の地域宗教文化Ⅰ-Ⅱをあわせて履修することが望ましい。

自由選択科目 (卒業要件に算入せず)

自由選択科目	卒業要件に算入しない	1年次	2年次	3年次	4年次
		※サービスマニピュレーション実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②			
		長期インターンシップ④			

※詳細についてはP.54・55を参照

I. 大学で学ぶために

II. 授業・試験・成績

III. 履修関連事項

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ

VII. 諸規則

VIII. 教室見取図

宗内生宗門資格取得科目

宗教文化学科宗内生について

宗教文化学科の宗内生で、宗門の教師資格を取得しようとする場合、次の表の条件を満たさなければなりません。なお、宗門資格取得には、宗務庁から別の規程が通達されているので注意してください。

	科 目	単位数	資格取得要件(30単位)
宗 乗	禅学入門Ⅰ	2	4科目 8単位
	禅学入門Ⅱ	2	
	禅語録講読Ⅰ	2	
	禅語録講読Ⅱ	2	
	禅宗史Ⅰ	2	
	禅宗史Ⅱ	2	
	禅の思想Ⅰ-I	2	
	禅の思想Ⅰ-II	2	
	禅の思想Ⅱ-I	2	
	禅の思想Ⅱ-II	2	
	禅文化セミナーⅠ	2	
	禅文化セミナーⅡ	2	
余 乗	仏教学入門Ⅰ	2	4科目 8単位 ※宗乗・余乗については、 講義内容により相互に読 み替えが可能。
	仏教学入門Ⅱ	2	
	仏教の歴史Ⅰ	2	
	仏教の歴史Ⅱ	2	
	仏典講読Ⅰ	2	
	仏典講読Ⅱ	2	
	インド仏教の思想Ⅰ	2	
	インド仏教の思想Ⅱ	2	
	仏教の中国的展開Ⅰ	2	
	仏教の中国的展開Ⅱ	2	
	中国仏教の思想Ⅰ	2	
	中国仏教の思想Ⅱ	2	
	仏教の日本的展開Ⅰ	2	
	仏教の日本的展開Ⅱ	2	
	日本仏教の思想Ⅰ	2	
	日本仏教の思想Ⅱ	2	
	日本の仏教Ⅰ	2	
	日本の仏教Ⅱ	2	
仏教文化セミナーⅠ	2		
仏教文化セミナーⅡ	2		
布 教	教化布教特講	2	2科目 4単位
	現代社会と仏教Ⅰ	2	
	現代社会と仏教Ⅱ	2	
教 化	総合セミナーⅠ	2	2科目 4単位
	総合セミナーⅡ	2	
参 禅	坐禅Ⅰ	2	2科目 4単位
	坐禅Ⅱ	2	
法式・声明	行持の基礎	2	1科目 2単位

カリキュラム概要

歴史学科の卒業要件単位について

卒業するためには「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 40 単位	+	専門教育科目 80 単位	+	グレーゾーン 8 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
 - ・○は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
 - ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。
- 履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。**

教養教育科目 (40 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	分野合計	内訳				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②			
教養基幹科目	36単位	4単位	教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①		教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①	
			心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②			
			法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ 各②			
			数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ、情報科学Ⅰ・Ⅱ 各②			
			情報科学Ⅲ・Ⅳ 各②			
主題系	4単位	4単位	仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②			
外国語科目	36単位	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①			
			英語Ⅰc・Ⅱc 各①			
			ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ 各① (1言語を選択)			
			ドイツ文化事情、中国文化事情、フランス文化事情、韓国文化事情 各② (1科目を選択)			
エレクトティブ			【英語】 英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ・Ⅱ、英語読解Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ 各① 【ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語・スペイン語】 Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎) 各①			
			【英語】 英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現Ⅲ・Ⅳ、 英語読解Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各① 【ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語】 Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、 Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各①			
健康総合 科学科目		2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①			
合計	40単位		※「教養教育科目」において、40単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 ※外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.40を参照。			

自由選択科目 (卒業要件に算入せず)

自由選択 科目	卒業要件に 算入しない	1年次	2年次	3年次	4年次
		※サービスマニピュレーション実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②			
		長期インターンシップ④			

※詳細についてはP.54・55を参照

カリキュラム概要

専門教育科目 (80 単位)

分野	要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
専門基礎科目	18単位	日本史概説 I・II、東洋史概説 I・II、西洋史概説 I・II、イスラム圏史概説、考古学概説 I・II 各②			
	10単位	史学概論 I・II、考古学概論 各②			
		東西交渉史 I・II、国際関係史 I・II 各②			
専門一般科目 (注1)	4単位	基礎講読 I・II 各② 日本史A・B、東洋史A・B、西洋史A・B、イスラム圏史、考古学A・Bの各基礎講読から2科目(4単位)を選択			
	8単位	特殊講義 I・II 各② 日本史A・B、東洋史A・B、西洋史A・B、イスラム圏史、考古学A・B、地域史C、世界史C、文化財科学Cの特殊講義から4科目(8単位)を選択			
	4単位			専門講読 I・II 各② 日本史A・B、東洋史A・B、西洋史A・B、イスラム圏史、考古学A・Bの各専門講読から2科目(4単位)を選択	
	4単位			基礎演習 I・II 各② 日本史A・B、東洋史A・B、西洋史A・B、イスラム圏史、考古学A・Bの各基礎演習から2科目(4単位)を選択	
	8単位			特殊研究 I・II 各② 日本史A・B、東洋史A・B、西洋史A・B、イスラム圏史、考古学A・B、地域史C、世界史C、文化財科学Cの特殊研究から4科目(8単位)を選択	
	4単位				専門演習 I・II 各② 日本史A・B、東洋史A・B、西洋史A・B、イスラム圏史、考古学A・Bの各専門演習から2科目(4単位)を選択
卒業論文	8単位				卒業論文 ⑧
選択科目 (注2)	12単位 ④	地理学A・B、地誌、組織社会学 I・II、文化人類学 I・II、中国文化史入門、韓国・朝鮮文化史入門 各②			
		自然地理学 I・II、★古文書学 I・II (注3)、日本民俗学 I・II、日本の思想 I・II、中国の思想 I・II、東アジア史 I・II、西洋の思想 I・II、美術の歴史 I・II、西洋古典の文化(ラテン語) I・II、地域考古学 I・II、☆考古学基礎野外演習A・B (注3) 各②			
				アジア諸国史、西欧文明史 I・II、欧米諸国史 I・II、☆考古学専門野外演習A・B (注3)、海外の考古学 I・II 各②	
合計	80単位	※80単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。			

(注1) 基礎講読・専門講読・特殊講義・特殊研究は「I・II」をセットで履修してください。
 (注2) 専門教育科目(選択科目)のうち4単位は専門一般科目の必要最低単位数を超えた単位で振替ができます。
 (注3) ★「古文書学 I・II」は日本史コース専攻者の必修科目ですので、同コース専攻者は必ず4単位修得してください。
 ☆「考古学基礎野外演習」「考古学専門野外演習」は考古学コース専攻者の選択必修科目ですので、同コース専攻者は必ず2単位ずつ修得してください。

グレーゾーン (8 単位)

	要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次	
グレーゾーン	8単位		スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ 各①			
		海外事情 I・II 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①				
		*キャリア・デザイン②				
		*インターンシップ②				
		*地域連携学 A・B・C・D 各②				
		・「教養教育科目」の要件 40 単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件 80 単位を超えて修得した科目の単位 ・「単位互換科目」で修得した単位				
「他学部・他学科科目」で修得した単位 (20 単位まで修得可) ※グレーゾーンの要件 8 単位を超えた場合は、12 単位まで④「専門教育科目」に算入される。						

*いずれか2単位のみグレーゾーンに算入

カリキュラム概要

英語英米文化学科の卒業要件単位について

卒業するためには「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たすことが必要です。

教養教育科目 36 単位	+	専門教育科目 76 単位	+	グレーゾーン 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・**○**は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。

教養教育科目 (36 単位)

分 野	要件単位		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	
	分野合計	内訳					
宗教学	4 単位	4 単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②				
教養基幹科目			教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①	教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①			
	人文系	4 単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②				
	社会系	4 単位	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②				
	自然系	20 単位 (注1)	4 単位	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ、情報科学Ⅰ・Ⅱ 各②	情報科学Ⅲ・Ⅳ 各②		
	主題系	4 単位		仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②			
外国語科目	第1外国語	6 単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①	英語Ⅰc・Ⅱc 各①			
	第2外国語	10 単位	2 単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ 各① (1言語を選択)			
	文化事情	2 単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、フランス文化事情、韓国文化事情 各② (1科目を選択)				
健康総合科学科目	2 単位	2 単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①				
合計	36 単位	(注1)「教養基幹科目」において、20単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 ※ 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.40を参照。					

自由選択科目 (卒業要件に算入せず)

自由選択科目	卒業要件に算入しない	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
		※サービスマニピュレーション実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②			
		長期インターンシップ④			

※詳細についてはP.54・55を参照

カリキュラム概要

専門教育科目 (76 単位)

分野	要件単位 内訳	1年次	2年次	3年次	4年次
英語科目	英語基礎科目 26単位	Culture through English I a・I b 各② Oral Communication I a・I b, English for TOEIC I a・I b 各①			
	英語発展科目 4単位	English Camp ② Introduction to Living Overseas, TOEFL I、Power-Up English I 各①			
専門専攻科目	20単位	Study Tour I～III 各②			
	10単位	キャリアデザイン a・b ② 英語学概論a・b、日英語比較a・b、英語の歴史a・b アメリカ文化研究 I a・I b、アメリカ文化研究 II a・II b、アメリカ文学研究 a・b イギリス文化研究 I a・I b、イギリス文化研究 II a・II b、イギリス文学研究 a・b アジア・オセアニア文化研究 I a・I b、アジア・オセアニア文化研究 II a・II b 国際研究 I a・I b、国際研究 II a・II b、比較文化論、大衆文化論 各②			
専門演習科目	12単位	基礎演習 I ② 基礎演習 II ② 英米文化演習 a・b 各② 総合演習 a・b 各②			
卒業論文	4単位	卒業論文 ④			
合計	76単位	※76単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。			

グレーゾーン (16 単位)

要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
グレーゾーン 16単位	英会話 I・II、メディア英語 I・II、英語表現法 I・II、英語読解法 I・II、実践英語 I・II 各①			
	英会話 III・IV、メディア英語 III・IV、英語表現法 III・IV、英語読解法 III・IV、実践英語 III・IV 各①			
	ドイツ語 中国語 フランス語 韓国語 **スペイン語			
	I (基礎)・II (基礎) 各① III (読解)・IV (読解)、III (表現)・IV (表現)、III (総合)・IV (総合)、 会話 I・II 各①			
	スポーツ科学 III・IV 各①			
	海外事情 I・II 各②、海外事情 III・IV 各①			
	*キャリア・デザイン②			
	*インターンシップ②			
	*地域連携学 A・B・C・D 各②			
	・「教養教育科目」のうち、「教養基幹科目」の要件 20 単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件 76 単位を超えて修得した科目の単位 ・「単位互換科目」で修得した単位 「他学部・他学科科目」で修得した単位 (16 単位まで修得可)			

* いずれか2単位のみグレーゾーンに算入
** スペイン語は I (基礎)、II (基礎)のみ開講

I 大学で学ぶために

II 授業・試験・成績

III 履修関連事項

IV カリキュラム

V 諸資格の取得

VI カリキュラムマップ

VII 諸規則

VIII 教室見取図

旧				新				備考	
授業科目名	単位	学年		授業科目名	必修	単位	学年	注	卒業要件
英語英米文化入門ゼミa	2	1	→	基礎演習 I	○	2	1		4単位
英語英米文化入門ゼミb	2	1	→	基礎演習 II	○	2	2		
Culture through English I(国際文化入門) a	2	1	=	Culture through English I a	○	2	1		12単位
Culture through English I(国際文化入門) b	2	1	=	Culture through English I b	○	2	1		
Culture through English II(英米文化入門) a	2	2	=	Culture through English II a	○	2	2		
Culture through English II(英米文化入門) b	2	2	=	Culture through English II b	○	2	2		
Culture through English III(アジア・オセアニア文化入門) a	2	3	→						
Culture through English III(アジア・オセアニア文化入門) b	2	3	→						
オーラルコミュニケーション I a	1	1	→	Oral Communication I a	○	1	1		10単位
オーラルコミュニケーション I b	1	1	→	Oral Communication I b	○	1	1		
オーラルコミュニケーション II a	1	2	→	Oral Communication II a	○	1	2		
オーラルコミュニケーション II b	1	2	→	Oral Communication II b	○	1	2		
イングリッシュ&カルチャー I a	1	1	→	English for TOEIC I a	○	1	1		
イングリッシュ&カルチャー I b	1	1	→	English for TOEIC I b	○	1	1		
イングリッシュ&カルチャー II a	1	2	→	English for TOEIC II a	○	1	2		
イングリッシュ&カルチャー II b	1	2	→	English for TOEIC II b	○	1	2		
イングリッシュ&カルチャー III a	1	3	→						4単位
イングリッシュ&カルチャー III b	1	3	→						
TOEIC I a	1	2	→						
TOEIC I b	1	2	→						
TOEIC II a	1	3	→	English for TOEIC III a		1	3		
TOEIC II b	1	3	→	English for TOEIC III b		1	3		
TOEIC III	1	4	→						
オーラルコミュニケーション III a	1	3	→						
オーラルコミュニケーション III b	1	3	→						
ライティング III a	1	3	→						6単位
ライティング III b	1	3	→						
実用英語 I	1	2	→						
実用英語 II	1	2	→	Power-Up English II		1	2		
実用英語 III	1	2	→	English through Movies		1	2		
実用英語 IV	1	2	→	Business English		1	2		
English/Culture Tour I	2	1	→	English Camp		2	1		
English/Culture Tour II	2	1	→	Study Tour I		2	1		
English/Culture Tour III	2	1	→	Study Tour II		2	1		
English/Culture Tour IV	2	1	→	Study Tour III		2	1		
国際関係論	2	2	→	国際研究 I a		2	2		4単位
国際理解教育入門	2	2	→	国際研究 I b		2	2		
社会調査法	2	2	→	国際研究 II a		2	2		
フィールドワーク論	2	2	→	国際研究 II b		2	2		
アジアの思想と文化	2	2	→						4単位
比較文化論	2	2	=	比較文化論		2	2		
大衆文化論	2	2	=	大衆文化論		2	2		
英語学概論a	2	2	=	英語学概論a		2	2		
英語学概論b	2	2	=	英語学概論b		2	2		
日英語比較 a	2	2	=	日英語比較 a		2	2		
日英語比較 b	2	2	=	日英語比較 b		2	2		
英語の歴史a	2	2	=	英語の歴史a		2	2		
英語の歴史b	2	2	=	英語の歴史b		2	2		
アメリカ文学研究a	2	2	=	アメリカ文学研究a		2	2		
アメリカ文学研究b	2	2	=	アメリカ文学研究b		2	2		
イギリス文学研究a	2	2	=	イギリス文学研究a		2	2		
イギリス文学研究b	2	2	=	イギリス文学研究b		2	2		
地域文化研究 I a	2	2	→	アメリカ文化研究 I a		2	2		
地域文化研究 I b	2	2	→	アメリカ文化研究 I b		2	2		
地域文化研究 II a	2	2	→	アメリカ文化研究 II a		2	2		
地域文化研究 II b	2	2	→	アメリカ文化研究 II b		2	2		
地域文化研究 III a	2	2	→						
地域文化研究 III b	2	2	→						
地域文化研究 IV a	2	2	→	イギリス文化研究 I a		2	2		
地域文化研究 IV b	2	2	→	イギリス文化研究 I b		2	2		
地域文化研究 V a	2	2	→						
地域文化研究 V b	2	2	→						
地域文化研究 VI a	2	2	→	イギリス文化研究 II a		2	2		
地域文化研究 VI b	2	2	→	イギリス文化研究 II b		2	2		
地域文化研究 VII a	2	2	→	アジア・オセアニア文化研究 I a		2	2		
地域文化研究 VII b	2	2	→	アジア・オセアニア文化研究 I b		2	2		
地域文化研究 VIII a	2	2	→	アジア・オセアニア文化研究 II a		2	2		
地域文化研究 VIII b	2	2	→	アジア・オセアニア文化研究 II b		2	2		
地域文化研究 IX a	2	2	→						
地域文化研究 IX b	2	2	→						
欧米文化特講 I a	2	3	→						12単位
欧米文化特講 I b	2	3	→						
欧米文化特講 II a	2	3	→	アメリカ文化特講 I a		2	3		
欧米文化特講 II b	2	3	→	アメリカ文化特講 I b		2	3		
欧米文化特講 III a	2	3	→	アメリカ文化特講 II a		2	3		
欧米文化特講 III b	2	3	→	アメリカ文化特講 II b		2	3		
欧米文化特講 IV a	2	3	→	イギリス文化特講 II a		2	3		
欧米文化特講 IV b	2	3	→	イギリス文化特講 II b		2	3		
欧米文化特講 V a	2	3	→						
欧米文化特講 V b	2	3	→						
欧米文化特講 VI a	2	3	→	イギリス文化特講 I a		2	3		
欧米文化特講 VI b	2	3	→	イギリス文化特講 I b		2	3		
アジア・オセアニア文化特講 I a	2	3	=	アジア・オセアニア文化特講 I a		2	3		
アジア・オセアニア文化特講 I b	2	3	=	アジア・オセアニア文化特講 I b		2	3		
アジア・オセアニア文化特講 II a	2	3	→	国際研究特講 I a		2	3		
アジア・オセアニア文化特講 II b	2	3	→	国際研究特講 I b		2	3		
英語研究特講 I a	2	3	=	英語研究特講 I a		2	3		
英語研究特講 I b	2	3	=	英語研究特講 I b		2	3		
英語研究特講 II a	2	3	=	英語研究特講 II a		2	3		
英語研究特講 II b	2	3	=	英語研究特講 II b		2	3		
英米文化演習a	2	3	=	英米文化演習a	○	2	3		
英米文化演習b	2	3	=	英米文化演習b	○	2	3		
総合演習 a	2	4	=	総合演習 a	○	2	4		
総合演習 b	2	4	=	総合演習 b	○	2	4		
卒業論文	4	4	=	卒業論文	○	4	4		4単位

カリキュラム概要

日本文文化学科の卒業要件単位について

卒業するためには「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 36 単位	+	専門教育科目 76 単位	+	グレーゾーン 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-----------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・**○**は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。

教養教育科目 (36 単位)

分 野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次	
	分野合計	内訳					
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②				
教養基幹科目			教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①	教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①			
	人文系	4単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②				
	社会系	4単位	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②				
	自然系	20単位 (注1)	4単位	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ、情報科学Ⅰ・Ⅱ 各②	情報科学Ⅲ・Ⅳ 各②		
	主題系	4単位			仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②		
外国語科目	第1外国語	10単位	6単位	英語Ⅰa・Ⅱa、英語Ⅰb・Ⅱb 各①	英語Ⅰc・Ⅱc 各①		
	第2外国語		2単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ 各① (1言語を選択)			
	文化事情		2単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、フランス文化事情、韓国文化事情 各② (1科目を選択)			
健康総合科学科目	2単位	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①				
合計	36単位		(注1)「教養基幹科目」において、20単位を超えた単位は「グレーゾーン」に算入される。 ※ 外国人留学生の外国語科目の履修についてはP.40を参照。				

自由選択科目 (卒業要件に算入せず)

自由選択科目	卒業要件に算入しない	1年次	2年次	3年次	4年次
		※サービスマニエール実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各①、課題解決型演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 各②			
		長期インターンシップ④			

※詳細についてはP.54・55を参照

カリキュラム概要

専門教育科目 (76 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	合計	内訳				
1群	A	24 単位 ①	4単位	言語学Ⅰ・Ⅱ、日本語学Ⅰ・Ⅱ 各②	言語と文化Ⅰ・Ⅱ 各②	
				日本文学の歴史Ⅰ・Ⅱ 各②	日本の古典文学Ⅰ・Ⅱ、日本の近代文学Ⅰ・Ⅱ 各②	
				仏教と文化Ⅰ・Ⅱ、美術の歴史Ⅰ・Ⅱ 各②	日本の思想Ⅰ・Ⅱ、書道の歴史、書論 各②	
				現代社会学Ⅰ・Ⅱ、文化人類学Ⅰ・Ⅱ 各②	日本民俗学Ⅰ・Ⅱ 各②	
				フレッシュマン英会話Ⅰ・Ⅱ 各①	上級英会話Ⅰ・Ⅱ 各①	
2群		30単位 ②		日本文化史Ⅰ・Ⅱ 各②、書道文化ⅠⅠ・Ⅱ 各①	日本語の音声Ⅰ・Ⅱ、日本語の文法Ⅰ・Ⅱ、日本語の表現Ⅰ・Ⅱ、中国の古典Ⅰ・Ⅱ、 仏教と芸術Ⅰ・Ⅱ、日本文化特講1～5 各② 書道文化2Ⅰ・Ⅱ 各①	日本語の教育Ⅰ・Ⅱ、古典文学研究Ⅰ・Ⅱ、近代文学研究Ⅰ・Ⅱ、 禅と日本文化Ⅰ・Ⅱ、社会調査法Ⅰ・Ⅱ、家族と社会Ⅰ・Ⅱ、 日本文化特講6～10 各② 書道文化3～5Ⅰ・Ⅱ 各①
3群	22 単位	4単位			講読Ⅰ・Ⅱ 各②	
			4単位		演習Ⅰ・Ⅱ 各②	
			2単位		世界のなかの日本文化Ⅰ・Ⅱ、アジアのなかの日本文化Ⅰ・Ⅱ 各②	
			4単位			総合演習Ⅰ・Ⅱ 各②
			8単位			卒業論文⑧
合計		76単位	※76単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。			

グレーゾーン (16 単位)

要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
グレーゾーン	英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現Ⅰ・Ⅱ、英語読解Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ各①			
	英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現Ⅲ・Ⅳ、英語読解Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ各①			
	ドイツ語 中国語 フランス語 韓国語 **スペイン語			
	Ⅰ(基礎)・Ⅱ(基礎)各①			
	Ⅲ(読解)・Ⅳ(読解)、Ⅲ(表現)・Ⅳ(表現)、Ⅲ(総合)・Ⅳ(総合)、 会話Ⅰ・Ⅱ各①			
	スポーツ科学Ⅲ・Ⅳ 各①			
	海外事情Ⅰ・Ⅱ 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①			
	*キャリア・デザイン②			
	*インターンシップ②			
	*地域連携学A・B・C・D 各②			
・「教養教育科目」のうち、「教養基幹科目」の要件20単位を超えて修得した科目の単位 ・「専門教育科目」の要件76単位を超えて修得した科目の単位 ・「単位互換科目」で修得した単位				
「他学部・他学科科目」で修得した単位(24単位まで修得可) ※グレーゾーンの要件16単位を超えた場合、残りの8単位までは、① →⑧の順でそれぞれ4単位を上限に「専門教育科目」に算入される。				

* いずれか2単位のみグレーゾーンに算入
** スペイン語はⅠ(基礎)、Ⅱ(基礎)のみ開講

I. 大学で学ぶために

II. 授業・試験・成績

III. 履修関連事項

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ

VII. 諸規則

VIII. 教室見取図

カリキュラム概要

グローバル英語学科の卒業要件単位について

卒業するためには「愛知学院大学学則」第8条に定める次の要件を満たす必要があります。

教養教育科目 30 単位	+	専門教育科目 82 単位	+	グリーゼーション 16 単位	=	卒業要件単位 128 単位
-----------------	---	-----------------	---	-------------------	---	------------------

○卒業要件の確認ポイント

- ・表中の○内にある数字は「単位数」を表しています。
- ・○は「必修科目」で、卒業までに修得する必要があります。
- ・「要件単位」は分野ごとに修得する必要がある単位数です。

履修科目ごとの分野及びその要件単位を確認のうえ、計画的に単位を修得してください。

教養教育科目 (30 単位)

分野	要件単位		1年次	2年次	3年次	4年次
	分野合計	内訳				
宗教学	4単位	4単位	宗教学Ⅰ・Ⅱ 各②			
教養基幹科目	26単位	4単位	教養セミナーⅠ・Ⅱ 各①		教養セミナーⅢ・Ⅳ 各①	
		4単位	心理学Ⅰ・Ⅱ、哲学Ⅰ・Ⅱ、論理学Ⅰ・Ⅱ、文学Ⅰ・Ⅱ、美術Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	法学Ⅰ・Ⅱ、政治学Ⅰ・Ⅱ、経済学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、教育学Ⅰ・Ⅱ、歴史学Ⅰ・Ⅱ、地理学Ⅰ・Ⅱ 各②			
		4単位	数学Ⅰ・Ⅱ、統計学Ⅰ・Ⅱ、物理学Ⅰ・Ⅱ、化学Ⅰ・Ⅱ、生物学Ⅰ・Ⅱ、情報科学Ⅰ・Ⅱ 各②		情報科学Ⅲ・Ⅳ 各②	
		4単位	仏教と現代社会Ⅰ・Ⅱ、禅と人間Ⅰ・Ⅱ、生命に関する諸問題Ⅰ・Ⅱ、人間行動の理解Ⅰ・Ⅱ、人間の尊厳と平等Ⅰ・Ⅱ、日本の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、アジアの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパの文化と社会Ⅰ・Ⅱ、英語圏の文化と社会Ⅰ・Ⅱ、人間と環境Ⅰ・Ⅱ、情報と社会Ⅰ・Ⅱ、産業と科学Ⅰ・Ⅱ、ソフトウェア概論Ⅰ・Ⅱ、健康の科学 各②			
外国語科目	26単位	2単位	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ、中国語Ⅰ・Ⅱ、フランス語Ⅰ・Ⅱ、韓国語Ⅰ・Ⅱ 各① (1言語を選択)			
		2単位	ドイツ文化事情、中国文化事情、フランス文化事情、韓国文化事情 各② (1科目を選択)			
			【英語】 英会話Ⅰ・Ⅱ、メディア英語Ⅰ・Ⅱ、英語表現法Ⅰ・Ⅱ、英語読解法Ⅰ・Ⅱ、実践英語Ⅰ・Ⅱ 各① 【ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語・スペイン語】 Ⅰ (基礎)・Ⅱ (基礎) 各①		【英語】 英会話Ⅲ・Ⅳ、メディア英語Ⅲ・Ⅳ、英語表現法Ⅲ・Ⅳ、英語読解法Ⅲ・Ⅳ、実践英語Ⅲ・Ⅳ 各① 【ドイツ語・中国語・フランス語・韓国語】 Ⅲ (読解)・Ⅳ (読解)、Ⅲ (表現)・Ⅳ (表現)、Ⅲ (総合)・Ⅳ (総合)、会話Ⅰ・Ⅱ 各①	
健康総合 科学科目	2単位	スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ 各①				
合計	30単位	※「教養教育科目」において、30単位を超えた単位は「グリーゼーション」に算入される。				

グリーゼーション (16 単位)

要件単位	1年次	2年次	3年次	4年次
グリーゼーション	海外事情Ⅰ・Ⅱ 各②、海外事情Ⅲ・Ⅳ 各①			
	*キャリア・デザイン②			
			*インターンシップ②	
	*地域連携学A・B・C・D 各②			
	「教養教育科目」のうち、30単位を超えて修得した科目の単位 「専門教育科目」について、82単位を超えて修得した科目の単位 「単位互換」で修得した単位			
「他学部・他学科科目」で修得した単位 (16単位まで修得可)				

(注) *いずれか2単位のみグリーゼーションに算入

カリキュラム概要

専門教育科目 (82 単位)

分野	卒業要件 (82単位)	1年次	2年次	3年次	4年次
英語技能	36単位	Oral Communication I a・I b、Listening I a・I b、Writing I a・I b、 Intensive Reading I a・I b、Extensive Reading I a・I b、TOEIC I a・I b 各①			
	36単位	Oral Communication II a・II b、Listening II a・II b、Writing II a・II b、 Intensive Reading II a・II b、Extensive Reading II a・II b、TOEIC II a・II b 各① 英文法 a・b 各②			
英語技能	グレーに算入	Oral Communication III a・III b、Writing III a・III b、 Intensive Reading III a・III b、Comprehensive Reading a、b 各①			
	グレーに算入	TOEFL I a・I b 各①	TOEFL II a・II b 各①	Discussion & Debate a・b 各①	Reading & Writing a・b 各①
専門	2単位	異文化理解入門②			
	6単位	国際ビジネス入門、観光入門、英語学入門、言語・文化と教育入門、 経済・金融基礎、観光地理、英語学基礎 各②			
		通訳・翻訳入門、通訳・翻訳基礎 各②			
	2単位	北米事情、イギリス事情、オセアニア事情、英語で学ぶ日本事情 各②			
	26単位	産官学連携講座 I・II 各②			
		産官学連携講座 III・IV、観光法規 a・b、英語発音法 a・b 各②			
各コース 最低16単位	観光 コース	観光実務論 a・b、観光ビジネス論 a・b、English for Tourism、 ホスピタリティ論、観光政策論 a・b、エアライン特別講座 I・II、 ホテル・旅館論、コンテンツ・ツーリズム、Interpreter Guide 各②			
	語 学 研 修 コ ー ス	通訳法 a・b、翻訳法 a・b、Interpreter Guide、Media English a・b、 Business English a・b、貿易・実務英語 a・b、国際関係論、社会言語学、 日英語比較論、第2言語習得論、英語文学 a・b、児童英語教育論 a・b 各②			
		英語教育実践法 ②			
語学研修	4単位	語学研修事前講座②			
		Study Abroad②			
		海外事情② ※海外事情は感染症の流行などの特別な事情がある場合にのみ開講する			
ゼミ・ 卒業研究・ 論文	14単位	基礎ゼミ②			
		専門ゼミ I a・I b 各②			
		専門ゼミ II a・II b 各②、卒業研究・論文④			
合計	82単位	※82単位を超えて修得した科目は「グレーゾーン」に算入される。			

自由選択科目 (卒業要件に算入せず)

自由選択 科目	卒業要件に 算入しない	1年次	2年次	3年次	4年次
		※サービスマニッシュアップ演習 I・II・III・IV 各①、課題解決型演習 I・II・III・IV 各②			
		長期インターンシップ④			

※詳細についてはP.54・55を参照

I. 大学で学ぶために

II. 授業・試験・成績

III. 履修関連事項

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ

VII. 諸規則

VIII. 教室見取図

グローバル英語学科(2021以降入学者)

分野	授業科目	単位	開講学年	履修コース		卒業要件
				観光	キャリア	
英語技能	Oral Communication I a	1	1~4	●	●	必修科目 36単位
	Oral Communication I b	1	1~4	●	●	
	Oral Communication II a	1	2~4	●	●	
	Oral Communication II b	1	2~4	●	●	
	Oral Communication III a	1	3~4	●	●	
	Oral Communication III b	1	3~4	●	●	
	Listening I a	1	1~4	●	●	
	Listening I b	1	1~4	●	●	
	Listening II a	1	2~4	●	●	
	Listening II b	1	2~4	●	●	
	Discussion&Debate a	1	3~4			
	Discussion&Debate b	1	3~4			
	Writing I a	1	1~4	●	●	
	Writing I b	1	1~4	●	●	
	Writing II a	1	2~4	●	●	
	Writing II b	1	2~4	●	●	
	Writing III a	1	3~4	●	●	
	Writing III b	1	3~4	●	●	
	Reading&Writing a	1	4			
	Reading&Writing b	1	4			
	Intensive Reading I a	1	1~4	●	●	
	Intensive Reading I b	1	1~4	●	●	
	Intensive Reading II a	1	2~4	●	●	
	Intensive Reading II b	1	2~4	●	●	
	Intensive Reading III a	1	3~4	●	●	
	Intensive Reading III b	1	3~4	●	●	
	Extensive Reading I a	1	1~4	●	●	
	Extensive Reading I b	1	1~4	●	●	
	Extensive Reading II a	1	2~4	●	●	
	Extensive Reading II b	1	2~4	●	●	
	Comprehensive Reading a	1	3~4	●	●	
	Comprehensive Reading b	1	3~4	●	●	
	英文法 a	2	2~4	●	●	
	英文法 b	2	2~4	●	●	
	TOEIC I a	1	1~4	●	●	
	TOEIC I b	1	1~4	●	●	
TOEIC II a	1	2~4	●	●		
TOEIC II b	1	2~4	●	●		
TOEFL I a	1	1~4				
TOEFL I b	1	1~4				
TOEFL II a	1	2~4				
TOEFL II b	1	2~4				
専門	異文化理解入門	2	1~4	●	●	2
	観光入門	2	1~4	△	△	6単位
	観光地理	2	1~4	△	△	
	国際ビジネス入門	2	1~4	△	△	
	経済・金融基礎	2	1~4	△	△	
	英語学入門	2	1~4	△	△	
	英語学基礎	2	1~4	△	△	
	言語・文化と教育入門	2	1~4	△	△	2単位
	通訳・翻訳入門	2	2~4	△	△	
	通訳・翻訳基礎	2	2~4	△	△	
	北米事情	2	2~4	△	△	
	イギリス事情	2	2~4	△	△	
	アジア事情	2	2~4	△	△	
	英語で学ぶ日本事情	2	2~4	△	△	

分野	授業科目	単位	開講学年	履修コース		卒業要件
				観光	キャリア	
専門	観光法規 a	2	2~4			各コースから16単位以上 専門教育科目の合計が76単位以上
	観光法規 b	2	2~4			
	英語発音法 a	2	2~4			
	英語発音法 b	2	2~4			
	英語文学 a	2	3~4		○	
	英語文学 b	2	3~4		○	
	児童英語教育論 a	2	3~4		○	
	児童英語教育論 b	2	3~4		○	
	第2言語習得論	2	3~4		○	
	日英語比較論	2	3~4		○	
	社会言語学	2	3~4		○	
	英語教育実践法	2	4		○	
	Media English a	2	3~4		○	
	Media English b	2	3~4		○	
	Business English a	2	3~4		○	
	Business English b	2	3~4		○	
	貿易・実務英語 a	2	3~4		○	
	貿易・実務英語 b	2	3~4		○	
	国際関係論	2	3~4		○	
	翻訳法 a	2	3~4		○	
	翻訳法 b	2	3~4		○	
	通訳法 a	2	3~4		○	
	通訳法 b	2	3~4		○	
	Interpreter Guide	2	3~4	○	○	
	English for Tourism	2	3~4	○		
	観光実務論 a	2	3~4	○		
	観光実務論 b	2	3~4	○		
	観光ビジネス論 a	2	3~4	○		
	観光ビジネス論 b	2	3~4	○		
	ホスピタリティ論	2	3~4	○		
	観光政策論 a	2	3~4	○		
	観光政策論 b	2	3~4	○		
	ホテル・旅館論	2	3~4	○		
	コンテンツ・ツーリズム	2	3~4	○		
	エアライン特別講座 I	2	3~4	○		
	エアライン特別講座 II	2	3~4	○		
産官学連携講座 I	2	1~4				
産官学連携講座 II	2	1~4				
産官学連携講座 III	2	2~4				
産官学連携講座 IV	2	2~4				
語学研修	語学研修事前講座	2	2~4	●	●	4単位
	Study Abroad	2	2~4	△	△	
	海外事情	2	3~4	△	△	
ゼミ卒業論文	基礎ゼミ	2	1~4	●	●	14単位
	専門ゼミ I a	2	3~4	●	●	
	専門ゼミ I b	2	3~4	●	●	
	専門ゼミ II a	2	4	●	●	
	専門ゼミ II b	2	4	●	●	
卒業研究・論文	4	4	●	●		

●=必修科目
△=選択必修科目
○=コース選択科目

I 大学で学ぶために

II 授業・試験・成績

III 履修関連事項

IV カリキュラム

V 諸資格の取得

VI カリキュラムマップ

VII 諸規則

VIII 教室見取図

グローバル英語学科 2020年度以前入学生適用

○=必修科目、△=選択必修科目、 =新しい講義名称 (Web 等で旧授業科目名と新授業科目名が連記されます。)

	旧			新			備考		卒業要件
	授業科目名	単位	学年	授業科目名	必修	単位	学年	注	
英語技能	Oral Communication I a	1	1	=	Oral Communication I a	○	1	1	28単位
	Oral Communication I b	1	1	=	Oral Communication I b	○	1	1	
	Oral Communication II a	1	2	=	Oral Communication II a	○	1	2	
	Oral Communication II b	1	2	=	Oral Communication II b	○	1	2	
	Oral Communication III a	1	3	=	Oral Communication III a	○	1	3	
	Oral Communication III b	1	3	=	Oral Communication III b	○	1	3	
	Listening I a	1	1	=	Listening I a	○	1	1	
	Listening I b	1	1	=	Listening I b	○	1	1	
	Listening II a	1	2	=	Listening II a	○	1	2	
	Listening II b	1	2	=	Listening II b	○	1	2	
	Writing I a	1	1	=	Writing I a	○	1	1	
	Writing I b	1	1	=	Writing I b	○	1	1	
	Writing II a	1	2	=	Writing II a	○	1	2	
	Writing II b	1	2	=	Writing II b	○	1	2	
	Writing III a	1	3	=	Writing III a	○	1	3	
	Writing III b	1	3	=	Writing III b	○	1	3	
	Extensive Reading I a	1	1	=	Extensive Reading I a	○	1	1	
	Extensive Reading I b	1	1	=	Extensive Reading I b	○	1	1	
	Extensive Reading II a	1	2	=	Extensive Reading II a	○	1	2	
	Extensive Reading II b	1	2	=	Extensive Reading II b	○	1	2	
	Extensive Reading III a	1	3	→	Comprehensive Reading a	○	1	3	
	Extensive Reading III b	1	3	→	Comprehensive Reading b	○	1	3	
	Intensive Reading I a	1	1	=	Intensive Reading I a	○	1	1	
	Intensive Reading I b	1	1	=	Intensive Reading I b	○	1	1	
	Intensive Reading II a	1	2	=	Intensive Reading II a	○	1	2	
	Intensive Reading II b	1	2	=	Intensive Reading II b	○	1	2	
	Intensive Reading III a	1	3	=	Intensive Reading III a	○	1	3	
	Intensive Reading III b	1	3	=	Intensive Reading III b	○	1	3	
	TOEIC I a	1	1	=	TOEIC I a	○	1	1	
	TOEIC I b	1	1	=	TOEIC I b	○	1	1	
	TOEIC II a	1	2	=	TOEIC II a	○	1	2	
	TOEIC II b	1	2	=	TOEIC II b	○	1	2	
	英文法 a	2	2	=	英文法 a	○	2	2	
	英文法 b	2	2	=	英文法 b	○	2	2	
	TOEFL I a	1	1	=	TOEFL I a		1	1	
	TOEFL I b	1	1	=	TOEFL I b		1	1	
	TOEFL II a	1	2	=	TOEFL II a		1	2	
	TOEFL II b	1	2	=	TOEFL II b		1	2	
	Discussion & Debate a	1	4	→	Discussion & Debate a		1	3	
	Discussion & Debate b	1	4	→	Discussion & Debate b		1	3	
Reading & Writing a	1	4	=	Reading & Writing a		1	4		
Reading & Writing b	1	4	=	Reading & Writing b		1	4		
異文化理解入門	2	1	=	異文化理解入門	○	2	1		
通訳・翻訳入門	2	2	→	通訳・翻訳入門	△	2	2		
国際ビジネス入門	2	2	→	国際ビジネス入門	△	2	1		
言語・文化と教育入門	2	2	→	言語・文化と教育入門	△	2	1		
観光入門	2	2	→	観光入門	△	2	1		
英語で学ぶ日本事情	2	3	→	英語で学ぶ日本事情	△	2	2		
北米事情	2	3	→	北米事情	△	2	2		
イギリス事情	2	3	→	イギリス事情	△	2	2		
オセアニア事情	2	3	→	オセアニア事情	△	2	2		
通訳・翻訳基礎	2	2	→	通訳・翻訳基礎		2	2		
経済・金融基礎	2	2	→	経済・金融基礎		2	1		
観光地理	2	2	→	観光地理		2	1		
英語音声学 a	2	2	→	英語発音法 a		2	2		
英語音声学 b	2	2	→	英語発音法 b		2	2		
英語学概論 a	2	2	→	英語学入門		2	1		
英語学概論 b	2	2	→	英語学基礎		2	1		
観光法規 a	2	2	=	観光法規 a		2	2		
観光法規 b	2	2	=	観光法規 b		2	2		
Media English a	2	3	=	Media English a		2	3		
Media English b	2	3	=	Media English b		2	3		
Business English a	2	3	=	Business English a		2	3		
Business English b	2	3	=	Business English b		2	3		
English for Tourism	2	3	=	English for Tourism		2	3		
Interpreter Guide	2	3	=	Interpreter Guide		2	3		
英語文学 a	2	3	=	英語文学 a		2	3		
英語文学 b	2	3	=	英語文学 b		2	3		
翻訳法 a	2	3	=	翻訳法 a		2	3		
翻訳法 b	2	3	=	翻訳法 b		2	3		
通訳法 a	2	3	=	通訳法 a		2	3		
通訳法 b	2	3	=	通訳法 b		2	3		
日英語比較論 a	2	3	→	日英語比較論		2	3		
日英語比較論 b	2	3	→	日英語比較論		2	3		
第2言語習得論	2	3	=	第2言語習得論		2	3		
児童英語教育論	2	3	→	児童英語教育論 a		2	3		
			→	児童英語教育論 b		2	3		
社会言語学	2	3	=	社会言語学		2	3		
国際関係論	2	3	=	国際関係論		2	3		
貿易・実務英語 a	2	3	=	貿易・実務英語 a		2	3		
貿易・実務英語 b	2	3	=	貿易・実務英語 b		2	3		
観光実務論 a	2	3	=	観光実務論 a		2	3		
観光実務論 b	2	3	=	観光実務論 b		2	3		
観光ビジネス論 a	2	3	=	観光ビジネス論 a		2	3		
観光ビジネス論 b	2	3	=	観光ビジネス論 b		2	3		
産官学連携講座 I	2	1	=	産官学連携講座 I		2	1		
産官学連携講座 II	2	1	=	産官学連携講座 II		2	1		
産官学連携講座 III	2	1	→	産官学連携講座 III		2	2		
産官学連携講座 IV	2	1	→	産官学連携講座 IV		2	2		
語学研修	Study Abroad	4	2	→	語学研修事前講座	○	2	2	
				→	Study Abroad*	△	2	2	
				→	海外事情**	△	2	3	
ゼミ・卒業研究・論文	基礎ゼミ	2	1	=	基礎ゼミ	○	2	1	
	専門ゼミ I a	2	3	=	専門ゼミ I a	○	2	3	
	専門ゼミ I b	2	3	=	専門ゼミ I b	○	2	3	
	専門ゼミ II a	2	4	=	専門ゼミ II a	○	2	4	
	専門ゼミ II b	2	4	=	専門ゼミ II b	○	2	4	
	卒業研究・論文	4	4	=	卒業研究・論文	○	4	4	

* 感染症の流行、渡航先の政変などの異常事態には開講しない
 ** 感染症の流行、渡航先の政変などの異常事態にのみ開講する

I. 大学で学ぶために
 II. 授業・試験・成績
 III. 履修関連事項
 IV. カリキュラム
 V. 諸資格の取得
 VI. カリキュラムマップ
 VII. 諸規則
 VIII. 教室見取図

地域・社会連携コースの説明 ～新しいことに挑戦し、視野を広め、課題解決する力を身につけたい人へ～

地域・社会連携コースは学部授業とは別に社会人基礎力を身につけることを目的とし、1年次より設定したAGU独自のカリキュラムです。どの学部の学生も自由に参加できます。

1 地域・社会連携コースの特色

●身に付く能力

経済産業省が提唱している、人生100年時代に求められるスキル「社会人基礎力」を身につけ、仕事での活躍はもちろん、生活する地域でも活躍する「地域貢献」型の人材を目指しましょう。

●社会人基礎力とは

●前に踏み出す力(アクション) ～一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む～

主体性:物事に進んで取り組む力
働きかける力:他人に働きかけ巻き込む力
実行力:目的を設定し確実に行動する力



●考え抜く力(シンキング) ～疑問を持ち、考え抜く～

課題発見力:現状を分析し目的や課題を明らかにする力
計画力:課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力
創造力:新しい価値を生み出す力



●チームで働く力(チームワーク) ～多様な人々とともに、目標に向けて協力する～

発信力:自分の意見をわかりやすく伝える力
傾聴力:相手の意見を丁寧に聴く力
柔軟性:意見の違いや立場の違いを理解する力
状況把握力:自分と周囲の人々や物事との関係を理解する力
規律性:社会のルールや人との約束を守る力
ストレスコントロール力:ストレスの発生源に対応する力



参考:経済産業省 「人生100年時代の社会人基礎力」

●コーディネーターによる学生支援

様々な協力者との連携により授業の内容が構成されています。コーディネーターは授業の担当教員でもあり、プログラムの調整、学生の指導を行います。各授業について、履修相談から活動中の困りごとなど適宜、相談にのります。

2 科目の説明

I. サービスラーニング実習 I～IV

行政・非営利団体(NPO)・商店街・企業と連携し様々な社会課題を知り、活動するプログラム。連携先の団体と活動する入門的な実習科目です。事前に専門的な知識を身に付ける必要は無く、活動を通して理解を深めます。例えば、高齢化による認知症の問題を考えるプログラムでは、行政の取組みや当事者との交流を行います。ボランティアの活動、講義形式の授業、グループワーク、打ち合わせなど1つのプログラム(実習科目)の中に様々な活動の形態があります。活動と考える事を繰り返しながら社会課題に取り組む意義を理解します。何かやってみたいと思う気持ちがあれば参加できます。

II. 地域連携学A・B

地域・社会の問題に取り組む実務家を講師に招き、講義を行います。実務家とは、非営利団体(NPO)、企業、行政などで働く方々です。講義を聴くだけでなく、グループでのディスカッションや講師との対話から、学びと気づきを共有します。

III. 地域連携学C・D

地域連携学C・Dはフィールドワークを行うプログラムです。地域連携学Cでは、2011年の東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故により避難区域に指定されていた福島県川俣町に赴き、避難解除後の復興の現状を知り、地域の方々との交流を通して学び気づきを得ます。地域連携学Dでは北海道の厚沢部町で、過疎化が進む地域でファームステイをしながら交流を通して町が抱える過疎化の課題を考えます。

IV. 課題解決型演習 I～IV

課題解決に必要な基礎素養を学ぶとともに、NPO、商店街・企業グループ・学校等と連携、実務家の方々と一緒に地域の課題解決プロジェクトを企画立案することを通して、調査、分析、提案という課題解決のスキルの習得を目標とする企画実践型のプログラムです。「藤が丘中央商店街(名東区)でのイベント企画、商品開発、映像制作」プロジェクト等、社会連携センターの支援を受けながら連携先との協議を踏まえ、新しい地域づくりに挑戦します。

地域・社会連携コースの説明 ～新しいことに挑戦し、視野を広め、課題解決する力を身につけたい人へ～

3 地域・社会連携コース科目の詳細

科目名	授業内容	開講年次	単位数	評価方法
サービスマーケティング実習 I～IV	各テーマによるボランティア活動 事前学習 2日～3日の実習 振り返り会 レポート作成	1年次より履修可能	1単位 (卒業要件単位数に算入されない)	認定
地域連携学A (産官民提携講座IV) 地域連携学B	実務家講師による講義 15回の講義形式の授業 記述式試験	2年次より履修可能	2単位 (卒業要件単位)	総合評価
地域連携学C・D	地域に赴きフィールドワーク 事前学習 2日～7日現地での活動 振り返り会 レポート作成	1年次より履修可能	2単位 (卒業要件単位)	認定
課題解決型演習 I (産官民提携講座V)	実務家講師による講義 15回の講義形式の授業 グループワークによる発表	2年次より履修可能	2単位 (卒業要件単位数に算入されない)	総合評価
課題解決型演習 II～IV	各テーマによるプロジェクト演習 調査、グループワーク、発表 ※プロジェクト毎に活動形態は異なります。	1年次より履修可能	2単位 (卒業要件単位数に算入されない)	認定

4 履修方法について

- ① WebCampusにて募集が案内されたのち社会連携センターのホームページ(<https://chiiki-renkei.agu.ac.jp/>)から申し込んでください。
春(4月)・秋(9月)頃に募集します。
- ② 定員を越える応募があった場合は抽選にて人数調整を行います。
- ③ 受講が決まったら、受講開始までにコーディネーターの連絡に従い受講の準備を進めてください。
- ④ 履修についての質問は下記アドレスまで問い合わせください。
社会連携センター メールアドレス m-ccc@dpc.agu.ac.jp

I. 大学で学ぶために

II. 授業・試験・成績

III. 履修関連事項

IV. カリキュラム

V. 諸資格の取得

VI. カリキュラムマップ

VII. 諸規則

VIII. 教室見取図

諸資格の取得

教職・司書・司書教諭・学芸員

次の諸資格の取得を希望する学生は、卒業に必要な単位のほかに定められた単位を修得しなければなりません。教職課程は1年次生、司書課程、博物館学芸員課程、社会教育主事は2年次生、司書教諭課程は3年次生から履修することができますが、学費とは別に課程登録料が必要になります。詳細については、それぞれの説明会で説明しますので、希望者は必ず出席してください。（「資格課程履修要項」参照）

宗教文化学科	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭1種「宗教・社会[*]」 ・高等学校教諭1種「宗教・地理歴史[*]・公民[*]」 ※歴史学科の課程を修得することにより取得可能 ・学校図書館司書教諭 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書 ・博物館学芸員 ・社会教育主事
歴史学科	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭1種「社会」 ・高等学校教諭1種「地理歴史・公民」 ・学校図書館司書教諭 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書 ・博物館学芸員 ・社会教育主事
日本文化学科	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭1種「国語」 ・高等学校教諭1種「国語・書道」 ・学校図書館司書教諭 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書 ・博物館学芸員 ・社会教育主事
英語英米文化学科	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭1種「英語」 ・高等学校教諭1種「英語」 ・学校図書館司書教諭 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書 ・社会教育主事
グローバル英語学科	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭1種「英語」 ・高等学校教諭1種「英語」 ・学校図書館司書教諭 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館司書 ・社会教育主事

2級考古調査士（歴史学科）

考古調査士とは、考古調査士資格認定機構に加盟した大学において、考古調査に関わる専門教育6科目群14単位（下の表参照）を修得した者の申請により与えられる専門資格です。

申請には所定の申請料25,000円が必要です。

科目名	単位数	科目群
考古学概説Ⅰ	2	1
考古学概説Ⅱ	2	3
考古学概論	2	2
考古学基礎講読A-Ⅰ	2	5
考古学基礎講読B-Ⅰ	2	5
考古学基礎演習A	4	4
考古学基礎演習B	4	4
文化財科学特殊研究C-1	2	6

最低3科目群から10単位の修得が必要となります。

※同一科目群で申請できるのは2科目4単位まで

社会福祉主事

厚生労働省の定める「社会福祉に関する科目」を3科目以上修得し卒業することにより、「社会福祉主事資格（任用資格）」を取得することができます（三科目主事）。社会福祉主事とは、福祉施設や行政機関で援助や保護が必要な人に相談・援助・指導を行う専門家のことです。該当科目などの詳細は教務課に問合せてください。

仏教専修科について

本学に在籍する文学部宗教文化学科以外の宗内生（曹洞宗寺院の子弟）で、在学中仏教専修科に籍を置き、所定の単位を修得し、宗務庁で規定する特殊安居の回数以上を修了したものは、曹洞宗二等教師の補任を受けることができます。詳細は、VII諸規則「愛知学院大学仏教専修科規程」、「仏教専修科受講要領」を確認してください。

日本語教育主専攻相当資格（日本文化学科）

文学部日本文化学科に在籍する学生は、所定の科目の単位を修得することにより「日本語教育主専攻相当資格」が愛知学院大学によって認定されます。詳しくは「日本語教師養成課程履修要項」で確認してください。

エクステンションセンター（キャリアセンターキャリア支援課）

皆さんの就職試験および各種資格試験対策を支援するために、エクステンションセンターがあります。エクステンションセンターでは、公務員採用試験対策（国家・地方公務員）をはじめ、行政書士・宅建・簿記・FP技能・証券外務員一種・旅行業務取扱管理者や保育士など専門性が高い講座を開講しています。

他方、秘書やサービス接遇で習得するビジネスマナーやコミュニケーション力は幅広い職業で役立ちます。MOS（Word, Excel, PowerPoint）やTOEIC[®]は今後必要なスキルです。この機会に始めてみませんか。さらに、SPI（企業が採用試験で用いる筆記テスト）対策まで、皆さんのニーズに応えられる幅広い講座を用意しています。各種資格試験の願書も取り揃えています。

各講座についての詳細は、オリエンテーションで配布している「2023年度 資格取得支援講座案内」を参照してください。またWebCampusの学生支援のタブから、Webパンフレットも見ることができます。その他、4月上旬には、各専門学校の先生による合同説明会や、各講座ごとの個別説明会もあります。日程等は、大学アプリやWebCampusを通じてお知らせします。なお、ご意見・ご希望などがありましたら日進キャンパスのエクステンションセンター（3号館1階）または名城公園キャンパス事務室までお気軽にお申し出ください。